

餃子の王将事件裏事情考

利権を巡る部落問題の解決が反社集団壊滅に繋がる！

安くてポリウムがあり、注文してテール到着までが早いことから市民の買収を極める餃子の王将。市内にも5店舗が出店している。

2013年12月19日に当時の王将フードサービス社長・大東隆行氏・享年72歳を殺害した容疑で10月28日に工藤会傘下右田組の田中幸雄(58歳)が逮捕された。

たばこの吸い殻のDNA鑑定に9年かかるのか、と非難されたが2015年12月に逮捕の計画を朝日新聞にスッパ抜かれ逮捕断念に至った経緯があるという。

11月5日付朝日新聞朝刊、11月10日号の週刊文藝、週刊新潮で福岡県出身の故上杉佐一郎・解放同盟委員長の妻弟・上杉昌也氏が大東・王将社長殺害の重要参考人として浮上した、と報じている。

そんな中、不法・違法の同和問題を一貫して礼してきた本紙に消息筋から資料が送付されてきた。

そこには暴力団と解放同盟の一蓮托生の姿が記されていた。片や部落解放の人権問題の団体。片や時の金目当てに権力の手先として動く集団。

相反する団体が繋がっている、というのだ。送られる

できた資料から浮かび上がった裏面は……。餃子の王将創業者の加藤朝雄氏は飯塚市出身。終戦時は満洲で憲兵隊員を務めていた。殺害された大東さんは義理の兄弟。加藤氏の妻は大東さんの姉に当たると。

「安い・早い・うまい」で事業を急展開した王将は出店計画の水面下交渉に前述の上杉昌也氏を起用し頼りにしたという。上杉氏は京都・關社会のフィクサー、スポンサー、山段芳春会長率いるノンバンク「キョートファイナンス」からも2百数十億円を借り入れ駆け付けさせた「日くつきの人物」。

イトマン事件の許永中・元被告や山口組、会津小鉄などに人脈を持つ。

1990年に当時の朝倉郡や甘木市の地元地権者に圧力をかけ「福岡センタークラブ(社長は上杉昌也)」を建設。死刑判決を受け控訴中の工藤会の野村総裁が4千万円の会員権を購入し常

小倉タイムス 2022年11月11日号より掲載

連客だったのは有名。野村氏が来場すると従業員は緊張しビリビリ。おつきの人にもおしほりやお茶の接待に粗相のないように神経を研ぎ澄ました、と元従業員談。

だがこのゴルフ場も2011年に340億円の負債を抱え経営破綻。

福岡出身の上杉氏は周囲の人にも知らぬ内に京都にも居住していたという。上杉氏が社長の京都通信建設工業は2003年に福岡市に移転するが2006年解散。と栄枯盛衰の形相。

王将は第3者調査報告書によると1977年ころに上杉氏と創業者の加藤氏が知り合った、となっている。建築許可申請を上杉氏に依頼すると下りなかった許可が下りたことから依頼が大きくなっていく。

1998年大阪国税庁の1億3千万円の所得隠しへの重加算税を課税事件は、大阪戎橋の王将の火事が起因。死傷者が出た事案で補償問題でこじれたのを上杉昌也氏に依頼。京都通信建設工業が中に入り解決。謝礼の1億円の経理処理が重加算税の対象になった。

90年代末・加藤氏の長男が社長時代に回転すしや車揚げ屋など多角経営に乗り出すか全て失敗。

総額260億円のうち170億円が返済されていないことでの上杉氏は金額が違う、と週刊誌等に話している。

日本で唯一「危険」が付く特定危険指定暴力団工藤会の統率事件は1998年2月の駒の浦漁協元組合長

堀原国弘氏射殺事件、2013年12月の桐原氏妻弟の北九州漁協組合長・上野忠義氏の射殺。2003年の暴力団追放運動のリーダーの店への手榴弾投げ込み。2011年2月建設会社社員への銃撃。同11月は建設会社社長射殺等々市内だけで50件近い。

その一方で上杉佐一郎、解同会長は生前「解放が目的、事業は手段」と言いながら解放同盟福岡県連の行政との癒着、巨大な公共事業である同和対策事業を引き出す運動スタイルを放棄してきた。

筑紫野市や太宰府市の同和対策事業の一環で行政が解同支部長手当を出している。上杉佐一郎氏の甥森岡氏関連経営する陽光建設に2002年から2004年までの3年間緊急雇用創出対策事業を委託、発行政も何も言えない状況が多々。これが福岡の実態。

こんな話もある。京都府

警備員1課は上杉氏を取り調べることに「あんた同和の人ですやん。同和即反社ですよ」と上杉氏を挑発。ネットニュースの記事が向府警広報に確認すると誰を事情聴取したかも含めお答えできません。

利権を求め解同と反社組織は繋がっている証左が餃子の王将事件だ。

世のため人のため！だれもが自由に人権を語れる民主的な地域社会をつくらう。

あと1週間！第14回県人研を成功させ、福岡での部落問題の解決に、確かな目途をつけようではありませんか。解決できるのは私たちです。